

第57号

平成28年2月19日

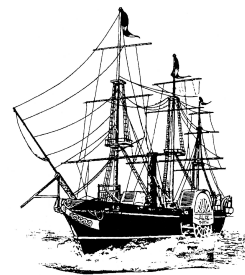
市議会だより

■11月臨時会

11月18日

■12月定例会

12月2日～12月11日



発行・下田市議会 編集・議会だより編集委員会 〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号 ☎0558(22)2220<直通>

1月10日 下田市成人式 (下田市民文化会館)



11月、12月の主な話題

■下田市役所位置条例 否決

■賀茂地域広域行政

本格運用始まる (賀茂広域消費生活センター設置)

11月臨時会

11月臨時会総括

11月臨時会は11月18日の1日間開かれ、下田浄化センター電気計装設備更新工事請負契約の締結に関する議案が本会議で審議され、全会一致で可決されました。

12月定例会

12月定例会総括

12月定例会は、12月2日から11日までの会期にて行われ、条例改正等議案8件、特別会計を含む補正予算関連議案8件、人事関連議案1件、その他8件の当局上程議案に加え、議員発議議案3件を含めた計28件について慎重審議を行いました。

今回の定例会では、本会議採決において出席議員数の3分の2が可決条件となる「下田市役所の位置に関する条例の一部を改正する条例の制定について」に注目が集まり、通常の本会議傍聴に加え、委員会審議においても傍聴席を設け、審議を行いました。委

員会においては賛成4、反対3となり原案可決、本会議においては賛成7、反対6となり、原案は否決されました。

総務文教 常任委員会

- 委員長 土屋 忍
- 副委員長 滝内久生
- 委員 進士為雄 竹内清二
- 鈴木 敬 伊藤英雄
- 沢登英信

条 例

【議第67号】 下田市役所の位置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
下田市の老朽化した庁舎を建て替えるため現在の位置から下田市敷根695番1に変更するための条例改正案です。

審査に当たり黒田施設整備室長の出席を求め、併せて参考人として、下田市新庁舎等建設基本構想・基本計画審議会の長友重一会長に出席して頂きました。

審査では委員より反対意見として「当初保健センターや図書館が併設される計画だったが県の総合庁舎を借りるこ

ととなった。それも現在不確定だ」「5階建てで駐車場を2フロアが途中から3階建てで駐車場は屋上とするなど計画が定まっていない」「予定地は急傾斜地の指定を受けている危険な場所だ」「現在6億有る基金を10億円程度にし、

借金をしない方法での建設を検討すべき」などの意見が出され、賛成意見として「庁舎を建て替えない場合耐震補強、自家発電設備、空調設備、屋上・外壁の防水など二重投資となる莫大な費用が必要」「代替案の無い今、他の場所となると、場所によっては防災無線の反射板や合併処理浄化槽の必要性も検討が必要」「労務費や資材の年9%の上昇を考えるとすぐにでも建設すべき」などの意見が出され、採決では可否同数となり委員長裁決で可決されました。

【議第69号】 下田市証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
農業委員会などに関係する法律の一部が改正され今回条文の一部を整備するためのものです。

【議第70号】 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について
マイナンバー法の施行に伴い個人番号の利用及び特定個人情報提供の提供に関する事項を条例で定めるためのものです。

【議第71号】 下田市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について
地方税法の一部改正に伴い条例を整備するもので、主に紙巻たばこ3級品(エコー・わかば等)のたばこ税を段階的に改定するためのものです。

平成27年度 下田市 一般会計補正予算

*企画財政課

■ふるさと応援寄付返礼品 500万円

ふるさと納税をさらに拡大して行くために返礼品の予算として補正されました。

■ふるさと応援寄付システム 使用料 139万2千円
ふるさと納税に関するシス

テムの使用料です。

*施設整備室

■新庁舎建設工事設計委託 1070万円
新庁舎建設に伴う設計委託料の総額1億7百万円の一部を補正計上したものです。

*地域防災課

■下田市災害用避難施設整備事業補助金 100万円
各自主防災会への避難路整備の補助金で上限は50万円です。

■春日山遊歩道測量設計委託 600万円

■第5分団第1部詰所建設事業 346万円
詰所建設に伴う旧淡交荘解体工事設計委託料及び建設工事設計委託料です。

*福祉事業所

■障害福祉サービス事業 1000万8千円
障害者が個人として自立した生活を送るための支援をするサービスです。

*学校教育課

■多様な保育推進事業補助金

民間保育所への補助金 122万7千円

■保育所運営費

461万5千円

民間保育所への補助金

■下田中学校屋上改修工事

2808万円

■地域子育て支援センター下

水道接続工事 90万円

***生涯学習課**

■下田市民スポーツセンター

下水道接続工事910万円

■市民文化会館管理運営事業

353万3千円

大ホールピアノ修繕費



委員長 小泉孝敬

副委員長 進士濱美

委員 橋本智洋 大川敏雄

増田 清 森 温繁

条 例

【議第80号】 下田市足湯設置
条例を廃止する条例の制定
について

下田市二丁目の下田市中心
商店街協同組合駐車場の一部
に平成12年11月より設置され

たハリスの足湯を廃止するも
のです。

その経過は、平成27年9月

に足湯設置場所の所有者であ

る下田市中心商店街協同組合

が解散するにあたり、足湯施

設を管理する足湯管理組合も

今年度をもって解散すること

が決定され、構成団体及び足

湯管理組合の総意として、施

設の解体撤去もやむなしと決

定されたことによるものです。

【議第72号】 下田市国民健康

保険条例の一部を改正する

条例の制定について

行政手続における特定の個

人を識別するための番号の利

用等に関する法律の施行に伴

い、国民健康保険税の減免申

請の記載事項に個人番号を加

える改正を行うためのもので

す。

【議第73号】 下田市消費生活

センターの組織及び運営に

関する事項等を定める条例

の制定について

現在の消費者を取り巻く環

境の変化の中、高齢者の被害

やインターネットトラブル等

による消費者被害等の複雑化、

多様化に対応し、消費者から

の苦情に関する相談、斡旋及

び情報提供等の事務を行うた

め、専門的な知識及び経験を

有している者を配置し、消費

者安全法に基づき、消費生活

センターの組織及び運営に関

する事項並びに、消費生活相

談等の事務の実施により得ら

れた情報の安全管理に関する

事項を定めるものです。

【議第80号】 賀茂広域消費生

活センター共同設置につい

て

下田市並びに東伊豆町、河

津町、南伊豆町、松崎町、西

伊豆町及び静岡県が共同で消

費生活センターを設置するも

のです。

同センターは、消費生活相

談の実施及び消費者教育の推

進を業務とし、センターには

職員1名と相談員2名であら

り、平日毎日専門的な立場か

ら助言、斡旋を行います。共

同設置により消費者トラブル

の多様な相談に対応するなど、

効率的な運用が可能になるも

のです。

【議第81号】 下田市農業委員

会の委員及び農地利用最適

化推進委員の定数を定める

条例の制定について

この条例は、農業委員会等

に関する国の法律改正に伴う

ものです。農業委員会が、そ

の主たる使命である農地利用

の最適化（担い手への農地利

用の集積・集約化、耕作放棄

地の発生防止・解消、新規参

入の促進）をよりよく果たす

ため、新たに農業委員会の委

員及び新設された農地利用最

適化推進委員の定数を定める

ものです。

現在、農業委員が農地の権

利移動の許可等の決定行為と

地域における現場活動の両方

を実施していますが、より積

極的に行うため、新設の推進

委員が現場での調査及び有効

利用に関して、現場の意見、

状況を委員会に伝える役目を

担うものです。

なお、農地利用最適化推進

委員の定数は稲梓地区2人、

稲生沢地区1人、朝日地区2人、

浜崎地区1人、白浜地区1人

の合計7人となるものです。

インフルエンザ予防接種委

託、4730人分です。

***観光交流課**

■観光まちづくり推進事業

20万円

平成28年4月4日(月)下田

港に入港予定のフランスの客

船「ル・ソレアル」に対する

PR等準備のための下田港客

船誘致協議会補助金です。

■世界一の海づくり事業

100万円

自然体験活動推進協議会負

担金で、2020年開催の東

京五輪に向けて、サーフィン

会場を下田に誘致するための

活動費です。

***建設課**

■都市公園維持管理事業

223万3千円

敷根公園のテニスコート修

繕工事等で、コート6面中2

面のサーブ地点4か所の補修

工事費です。

■耐震改修支援事業

600万円

市内5か所のホテル、旅館

の義務化耐震計画事業費補助

金です。

***市民保健課**

平成27年度 下田市
一般会計補正予算

■予防接種事業

236万5千円

総務文教 常任委員会 視察報告書

視察日 平成27年11月

24日(火)～25日(水)

視察地

1、東京都墨田区

ひきふね図書館行政視察

2、東京都荒川区・練馬区

表敬訪問

参加者

委員長 土屋 忍

副委員長 滝内久生

委員 進士為雄 竹内清二

鈴木 敬 伊藤英雄

沢登英信

視察目的

○平成25年4月開館の墨田区

立「ひきふね図書館」の建

設経過、運営状況を調査し、

今後の下田市における図書

館建設立案に資すること。

○下田市内に教育施設を有す

る荒川区、練馬区を表敬訪

問し友好を深めること。

視察報告

墨田区立ひきふね図書館

○墨田区は東京都の東部にあ



ひきふね図書館外観

り、西の区境は隅田川と東の区境は荒川および中川に挟まれた位置にある、河川に挟まれた町です。人口は26万1129人(平成27年11月1日現在)

○墨田区ひきふね図書館は京

成線曳舟駅より徒歩3分の

位置にあり、住宅、店舗を

含む複合施設(敷地面積2

289・41㎡、延床面積2

1万5082・02㎡、地

上22階地下1階)内に建設

されています。

○図書館は既存の2図書館を

統合し建設されており、複

合施設の2階～5階にあり、

その床面積は3393・0

4㎡で、2階には総合カウ

ンター、こども図書館等、

3階には書架、インターネッ

トコーナー、学習室、自動

出納書庫等、4階には書架、

情報サービスコーナー、障

がい者サービスルーム、学

習席等、5階には事務室、

会議室、ポランティアルー

ム等が設置されました。

○建設事業費(図書館部分)

はシステム関連費を含め約

30億円で、補助金の受け入

れはしていませんでした。

○平成26年度末で収蔵図書数

は31万5千冊、貸出者数は

22万5320人、貸出点数

は62万47点、来館者数は50

万8054人でした。

○職員31名(館長1名、係長

級2名、一般職18名、非常

勤職員10名)による直営方

式で運営されています。

○基本理念を①生涯学習の拠

点としての図書館②情報セ

ンターとしての図書館③区

民や地域の問題解決を支援

する図書館④すべての利用

者にやさしい図書館として

います。

○ひきふね図書館の特色は①

インターネットを活用した



自動貸出システム見学

建設にあたって最低限必要

な機能、システム整備の判

断基準に参考となる図書館

でした。

荒川区役所表敬

○荒川区は東京都の中央から

やや北東にあり、人口は21

万1119人(平成27年11

月1日)。

○下田市内に教育施設を有す

る荒川区役所を表敬訪問し

ました。荒川区議会の斉藤

泰紀議長、保坂正仁副議長、

高梨博和教育長をはじめ職

員の皆様の絶大なる歓迎を

受けました。荒川区への下

田市議訪問は初めてという

こともあり、斉藤議長から

は大変喜ばしい事であり、

今後とも下田市と友好を深

めていきたいとのこと意向を

伺いました。

○津波等の災害が予想される

下田市にとって参考となる、

荒川区内中学校に設けられ

ている「防災部」について

伺いました。千住第二中学

校に設立されたレスキュー

部をきっかけとし、「自分

たちの町は自分たちで守る



荒川区議会表敬訪問

という意識の醸成」「将来、地域活動の中核となる人材の育成」を目標とし、全中学校に「防災部」が設置されています。

○防災部は希望制で他の部活動と兼部を可としており、技量・知識・意欲の向上をめざしています。主な活動として地域の防災訓練への参加（D級ポンプの操作訓練、AEDの操作訓練等）やジュニア防災検定（一般財団法人防災検定協会）の取得、被災地の生徒との交流（釜石東中学校）が行われています。

○防災部関連予算はベスト・ヘルメット配布288万円、

ジュニア防災検定取得検定料105万円、被災地生徒交流95万円でした。

○建設中（平成29年1月完成予定）の図書館を含む複合施設「ゆいの森あらかわ」について、その理念・施設概要の説明を受けました。「ゆいの森あらかわ」は図書館、絵本館、カフェ、子ども施設、吉村昭記念文学館の機能を併せ持つ複合施設で、その規模は敷地面積約4100㎡、延床面積約1万900㎡、地上5階地下1階であり、事業費は約90億円でした。

○図書館の蔵書数は開架30万冊、閉架30万冊を予定し、蔵書の管理については「対面」を重視することや管理システムが過渡期であるとの判断でICタグの導入はしないとのことでした。

練馬区役所表敬

○練馬区は東京23区の北西にあり、人口は71万8929人（平成27年11月1日現在）。

○下田市内に教育施設を有する練馬区役所を表敬訪問し、



練馬区議会議場を見学

練馬区議会の柏崎強議長、内田ひろのり副議長をはじめ、職員の皆さんと面談し、友好を深めました。

○議会運営のご説明をいただいた後、本会議場や全員協議会室等の施設を見学させていただきました。

※今回の行政視察は今後の図書館施設建設立案に大変参考となりました。特に、システムの導入について、様々な考えのもと構築されていることが分かりました。

・長年の希望であった荒川区、練馬区の表敬訪問は両区との友好が深められ大変喜ばしいことであり

産業厚生 常任委員会 視察報告書

ました。今後とも両区と下田市の友好が発展し、交流が深まることを期待しています。

視察日 平成27年11月

24日（火）～25日（水）

視察地 千葉県館山市

参加者

委員長 小泉孝敬

副委員長 進士濱美

委員 大川敏雄 橋本智洋

増田 清

視察目的

○観光施策について

○「渚の駅たてやま」について

○食のまちづくりについて

①館山市の概要

館山市は、房総半島の南端域に位置し、東京湾に面した穏やかな内海を持っています。東京アクアラインを利用し、東京、横浜の人口密集地とも密接につながっています。地勢は緩やかな山に囲まれた平

地が多く、気候も内海の影響から温暖な環境を擁しています。

市の中心部は、大型商業施設の郊外進出により町の姿は一変、このため旧来の中心地はシャッター通り化し、住民生活のドーナツ化が顕著でした。

内海漁業ではイワシ、サバの漁獲が主要な水揚げであるものの従事者の減少は止まらず、結果、一人当たりの漁獲高は向上していません。農業は、従事者と耕作地の減少は続いており、宅地化、商業地化が見られます。漁業と同様、生産性は20年間一貫して向上しており、主要農作物は花、イチゴ、レタスです。東京、横浜と言う大型商業圏への一次産業生産物の供給には優位性が窺えるものの、人口減少、勤め人への転職があり、市内の寂れ感はぬぐえません。地域活性への活路は観光に向けられ始め、海、山、田畑の景観と産物をいかに活用するかに力を注ぐ今日です。

行政の概要は、人口4万8000人。市財政は一般会計190億円となっています。

② 視察事項

◎ 観光施策について

- ・ 館山市のアピールポイント、PR方法

観光プロモーション課を設置し、フィルムコミッションにてイメージアップ化、YouTube等々の動画サイトを利用、神奈川TVにもアップロードし、観光コマースシャルを流しています。



館山市役所にて

- ・ 市、観光協会、商工会議所等の連携状況及び近隣市町との連携

行政、観光協会、商工会議所等との連携及び近隣市町村とも協働して南総里見八犬伝で知られる南総観光連盟を立

ち上げました。観光者からは館山市単独ではなく、南房総のイメージとして選択されています。

- ・ 海と山の連携及び現在実施されている具体例

海と山の連携を総合力として捉えており、8か所の海水浴場では海からも迎え入れています。それは、大型クルーズ客船桟橋の設置となり、また伊豆稲取、大島、館山市を結ぶ超高速ジェットfoilも海路人気となっております。

- ・ 宿泊客の動向

車利用が80%を超え、東京圏と千葉北部からの流入者数は確実に増加しましたが、道路利便の良さから日帰り客が増えています。迎え方として、3市1町の広域観光化に力を入れていきます。

- ・ 体験型観光の具体例と、冬場の観光状況

冬場や閑散期には、学校向け体験旅行やトライアスロン、ビーチバレーなどのマリンスポーツ振興に期待をかけています。

◎ 「渚の駅たてやま」について

「温暖気候、眼前の海と平

地の多い農業適地の恵みは、いつしか変化への敏感さを失わせていたのではないだろうか。人口減少、産業経済の激変で地域が衰退してきた。」

との声から、地域住民と行政は、ともに新しい姿勢に取り組みむ契機となりました。海への視点を幅広く持つこと、東京湾があり、海上自衛隊があることもキッカケとなりました。その第一歩が、「渚の駅たてやま」。平成24年3月、交流拠点みなとオアシス「渚の駅たてやま」として新しい観光スポットが誕生しました。その概要は、地魚が大型水槽で泳ぐ海辺の広場、海洋民族をテーマとした渚の博物館、



日本最長の夕日桟橋を見学

館山湾を一望する展望デッキ、大型客船が着岸できる夕日桟橋、商業スペースで構成され、夏場では、百台収容の駐車場が不足する賑わいとなります。

特筆される夕日桟橋は、先端まで日本最長五百メートルを誇り、大型客船の長時間滞在スポットとして周辺の賑わいを作り出しています。その他、高速ジェット船、海中観光船も着岸し海路が生きています。海に視点を向けたことで、海辺のレジャーで終わることなく海上の道として人的、経済的交流の新たな活路を見出そうとする動きが本格化しています。

◎ 食のまちづくりについて

観光を重視した施策ではありませんが、野菜、フルーツの育成種類は多く、特徴の無さにメリハリを付けようと、町全域で四季折々の食を展開中です。

産物は気候に恵まれ、多品種生産ですが、特色とするものが無く、観光には結びついていませんでした。農業作物は、品種改良意欲は弱くJA出荷で終わり、内海の魚種は



ジャム工場を見学

イワシやサバ、海草と言った日常消費で終始し、加工産物にまで至らず所得を満足させるものではありませんでした。「野菜、フルーツと地物海産物を食材資源として見直す」。生産者、消費者、観光者の3者がうなずける共通の価値観を食に求める町づくりが進行中です。

計画は重層的で生産者の生活を支える、新たな加工事業を起す、販売は多面的ルートを作成し、流通もあらたにワク組みを共同して作る。さらに家庭の食卓、学校給食、福祉施設、パッケージツアーへの食の提供や飲食店への提供、メニュー、特産品の開発と全方位に向けた食の可能性

を探っています。

市内で新たに開いた自営ジャム工房を訪れました。小ぶりのビン詰めジャムの種類の多さにまず驚きました。添加物は使用せず、「畑の幸の本来の味をビンに詰めたい」と、今年の味を生産者に報告する。すると、来年は「海草を多めにしてみよう」と、応答してくる。こうして毎年の味の変化が伝わる結晶として棚に並び。こだわりの生産者、加工者が出てきました。

一次産業から食卓に上るまでの地元の食材が多くの人を関わらせ、観光、健康、事業までを元気にするか、答えを出すにはまだ尚早ではあるものの、足元の大切さを思い起こさせる貴重な政策を見る事ができました。



12月定例会一般質問

進士為雄（明政会）

- (1) 人口減と行政運営について
- (2) 地方創生について

鈴木 敬（かいかく）

- (1) 新庁舎建設について
- (2) 給食センターの民間委託と行財政改革大綱について

伊藤英雄（政和会）

- (1) 敷根公園前面の土地について
- (2) 新庁舎構想について
- (3) 緊急防災・減災事業債について
- (4) 市長になって3年6ヶ月経過した感慨について
- (5) 市庁舎位置条例について

小泉孝敬（自公クラブ）

- (1) 地方創生に対する現在の取組状況について
- (2) ツーリズム時代の新たな観光振興策について

進士濱美（かいかく）

- (1) 災害弱者（要支援者）の支援態勢作りを緊急に求めることについて
- (2) 新庁舎建設について

竹内清二（自公クラブ）

- (1) 市管理の各施設再編整備について
- (2) 防災対策の強化について
- (3) 多角的な広報戦略について
- (4) 観光推進への環境整備について
- (5) 賀茂地域自治体の広域連携の促進について
- (6) 市長の市政方針について

沢登英信（日本共産党）

- (1) 新庁舎等建設事業と防災対策について
- (2) 学校給食のセンター化と民間委託することの問題点について
- (3) 下田市教育大綱の策定と諸課題について

意見書提出

平成27年12月11日に地方自治法第99条の規定により、次の意見書2件を衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣及び関係大臣等に提出しました。

○奨学金制度の充実を求める意見書

○少人数学級の推進等の定数改善と義務教育費の国庫負担を2分の1に戻すことを求める意見書

人事案件

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の任期満了に伴い、引き続き和泉卿子氏（東本郷）を推薦することについて、適任と判断いたしました。

市議会会議規則の一部改正

女性議員が活躍できる環境を整備し、議会の活性化を促進するため、女性議員の出産による会議欠席に関する規定を明記する会議規則の一部改正案が議員より提出され、全会一致で可決されました。

11月臨時会審議結果

番号	11月臨時会議案件名	審議結果
議第65号	平成27年度（債務負担）下田浄化センター電気計装設備更新工事請負契約の締結について	原案可決

12月定例会審議結果

番号	12月定例会議案件名	審議結果
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
議第66号	静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について	原案可決
議第69号	下田市証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第70号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の制定について	原案可決
議第71号	下田市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第72号	下田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第73号	下田市消費生活センターの組織及び運営に関する事項等を定める条例の制定について	原案可決
議第74号	賀茂地域の広域連携に係る連携協約の締結について（静岡県）	原案可決
議第75号	賀茂地域の広域連携に係る連携協約の締結について（東伊豆町）	原案可決
議第76号	賀茂地域の広域連携に係る連携協約の締結について（河津町）	原案可決
議第77号	賀茂地域の広域連携に係る連携協約の締結について（南伊豆町）	原案可決
議第78号	賀茂地域の広域連携に係る連携協約の締結について（松崎町）	原案可決
議第79号	賀茂地域の広域連携に係る連携協約の締結について（西伊豆町）	原案可決
議第80号	賀茂広域消費生活センター共同設置について	原案可決
議第81号	下田市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例の制定について	原案可決
議第83号	平成27年度下田市稲稈財産区特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第84号	平成27年度下田市公共用地取得特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第85号	平成27年度下田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議第86号	平成27年度下田市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議第87号	平成27年度下田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第88号	平成27年度下田市集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議第89号	平成27年度下田市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
発議第5号	奨学金制度の充実を求める意見書の提出について	原案可決
発議第6号	少人数学級の推進等の定数改善と義務教育費の国庫負担を2分の1に戻すことを求める意見書の提出について	原案可決
発議第7号	下田市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決

《賛否の分かれた議案》

（○：賛成 ×：反対 -：退席）

番号	12月定例会議案件名	進士為雄	進士濱美	橋本智洋	滝内久生	竹内清二	小泉孝敬	大川敏雄	鈴木敬	伊藤英雄	土屋忍	増田清	森温繁	沢登英信	審議結果
議第67号	下田市役所の位置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	否決
議第68号	下田市足湯施設条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	原案可決
議第82号	平成27年度下田市一般会計補正予算（第4号）	○	×	○	○	○	○	-	×	×	○	○	○	×	原案可決

※議長（森温繁）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。ただし、議第67号は地方自治法第4条の規定により出席議員の3分の2以上の者の同意を必要とする議案であり、議長も採決に加わります。

編集委員会

◇委員長 土屋 忍

◇副委員長 小泉 孝敬

◇委員 進士 濱美

◇委員 滝内 久生

◇委員 竹内 清二

議会だよりの今回号から、議会審議の結果を伝える掲載の方法が変わりました。お気づきでしょうか。十三議員個々の賛否の姿勢が明確になりました。従来、全体での否決、可決だけは判りましたが多くの議案にどの議員が賛成して、どの議員が反対したかまでは判明せず、政治への関心を遠のける一因となっていました。基本、選挙を個々で戦い、地域、全体の代表です。まして地方政治の夜明けの今、遅ればせながらも一歩です。

（進）

編集後記

議会を傍聴しましょう
市議会へのご意見・ご希望を
お寄せ下さい